学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年　３・４　　教科・領域　体　育　　単元・題材等　浮く・泳ぐ運動

単元・題材等の目標　互いに協力して安全に気を付けながら、自己の目標に向けて、クロールや平泳ぎである程度続けて泳ぎ、水泳を楽しむ。

○活用できる学校外の人材と内容等

スイミングスクールの水泳指導員など
＊来校してもらい、プールで実技指導をしてもらう。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

＊太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

・自分が上手なところを見付け、友達が上手なところを認め励まし合う。【自他の理解能力】
・**水泳を教えてくれた人に感謝する。**【自他の理解能力】
・**水泳を教えることを職業としている人のいることが分かる。**【情報収集・探索能力】
・水泳技能の向上に向け、学習計画を立てる。【計画実行能力】
・水泳の時間にしてはいけないことが分かる。【選択能力】
・水泳学習上の自己の課題を解決しようと努力する。【課題解決能力】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連

体育「浮く・泳ぐ運動」
- 道徳１－(2)「つづけること」
- 道徳２－(1)「あいさつ」
- 道徳２－(3)「みんなで仲良く」
- 道徳２－(4)「感謝の気持ち」
- 道徳４－(1)「みんなの使うもの」

○学校外の人材を活用するポイント

本単元・題材に入る前に

＊指導過程のどの段階で、どのような内容を指導してもらうかについて、確認しておきましょう。

活用前の指導では

＊前時までに行った指導や児童の技能の習得状況について連絡しておきましょう。
＊プール学習のきまりを確認し、安全に留意した練習ができるようにしましょう。

活用時の指導では

＊自己課題を確認し、課題に応じた練習の場を選ばせ、練習に取り組ませましょう。

活用後の指導では

＊教えてもらったことをその後の練習に生かしましょう。
＊水泳査定会等の場を設定し、自己課題の達成が図れたかを確認できるようにしましょう。

○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導

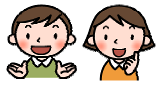
①安全に気を付け、自分の目標に向けて水泳を楽しもう
◆試し泳ぎをして目標を決め、練習に取り組む。

学習活動	指導上の配慮事項
●学習の内容やねらいを知り、見通しをもつ。【選択能力】【計画実行能力】 ●水に慣れ、クロール、平泳ぎにつながる運動をする。	○安全には十分留意し、きまりを守らせて練習させるようにする。
●試し泳ぎをして、今もっている力を知る。	○試し泳ぎをさせ、自分に合った目標をもたせるようにする。
●泳力をもとに、グループ編制を行い、練習に取り組む。【計画実行能力】【課題解決能力】【選択能力】	○泳ぎに自信のない児童には壁際のコースを使わせたり、水深の浅いところで練習させたりする。

評価の観点　・安全に留意し、きまりや心得を守り、試し泳ぎをして自分に合った目標をもつことができる。

活用時の指導

②できそうな泳ぎ方に挑戦しよう
◆挑戦したい泳ぎ方の練習を行う。

学習活動	指導上の配慮事項
●はじめのあいさつをする。  「水泳の指導をよろしくお願いします。」	○来校された人を紹介し、あいさつをさせる。 ○本時の学習内容、方法等を説明する。 「今日、教えに来てくれたのは、仕事で専門的に水泳を指導されている方です。」
●挑戦したい泳ぎ方と距離のコースで練習に取り組む。【計画実行能力】【自他の理解能力】【情報収集・探索能力】 「次は、50mのクロールに挑戦しよう。」	＊以降の学習や流れについては、来校された人が中心となり進めていく場合が多いと思われる。 ○教師は、個別指導や安全指導等を十分に行う。 ○目標に応じた練習をするように促したり、進んで練習の場を選び、取り組んでいる児童を賞賛したりする。
●２人組でお互いの泳ぎを見合って正しい泳ぎができているか伝え合う。【自他の理解能力】	○友達と見合い、教え合うようにさせる。
●片付けを行い、終わりのあいさつをする。【自他の理解能力】	○本時の学習内容のまとめを行い、お礼のあいさつをさせる。

評価の観点　・自己課題に応じた練習の場を選び、練習に取り組むことができる。
・プール学習のきまりを守り、安全に留意して練習に取り組んでいる。

活用後の指導

③自分のできる泳ぎ方で続けて長く泳ごう
◆今までの練習の成果を発揮して、水泳査定会をする。

学習活動	指導上の配慮事項
●教えてもらったことを思い出しながら、自分ができるようになった泳ぎ方、距離で練習に取り組む。【課題解決能力】 ●必要に応じて、友達と見せ合い、教え合いながら練習する。【自他の理解能力】	○教えてもらった内容やポイントについて思い起こさせながら、練習に取り組ませる。 「教えてもらったことはどんなことでしたか？気を付けることはどこでしょう？」
●水泳査定会を行う。 「今年は、この泳ぎ方ができるようになりました。また、これだけの距離が泳げました。」	○自分の目標に沿った査定に取り組ませる。 ○自分の成長や進歩に気付くような声掛けを行うようにする。

評価の観点　・教えてもらったことを、その後の練習に生かしている。
・水泳査定会等を通して自己課題の達成が図れたかを自己評価することができる。